

## 修養会を覚えての全校礼拝③

(中学3年生による礼拝)

聖書箇所: マタイによる福音書7:12

“だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。”

皆さんは、これはきっと神様に導かれたチャンスだと思った出来事や出会いはありますか？これは少し前に中3の聖書の授業で出された問です。その時私はぱっと思いついた出来事を書いて提出したのですが、後からよく考えてみれば私の短い人生の中でもあれほどまでに強烈な出会いはなく、まるで神様に導かれたように感じました。

私は昔から器用な性格ではなく幼いころからすぐ友達とけんかしては、おこられると「自分の思ったことを素直に言って何が悪い」と生意気なことを言って先生や親を困らせていました。無駄に正義感が強く頑固者な面も影響して、仲がいいといえるような友達は次第に少なくなっていく親友に泣きながら諭されてようやく私は自分の愚かさに気が付きました。それからは人をむやみに傷つけない、と反省して少しずつ努力したり自分の何がいけないのかを分析したりして、また少しずつ親しい友人を増やすことができたと思います。

小4の秋、捜真小学校に通っていた私は、母親と一緒に女学校の文化祭に来て、途中から数人の友人と一緒に回っていました。お昼を少し過ぎたころ気が付いたら私は置いてけぼりになっていました。周りを見回してもさっきまで隣で笑っていた友人はいなくて代わりに知らない人たちの幸せそうな笑顔があって自分だけが周りとは正反対の表情をしていてまるで一人だけ世界が切り離されたような感覚でした。誰も小さな迷子の女の子に気が付いてくれることはなくて、小学校高学年になったばかりだった私は自分から助けを求めることもみじめで、泣くのも恥ずかしくて悔しくて一生懸命涙をこらえながら歩くことしかできませんでした。そのとき「だいじょうぶ？」と声を掛けられびっくりして後ろを振り返るとそこには薄紫色のポロシャツを着たお姉さんが心配そうにこちらを見ていました。恥ずかしくて小さな声でつぶやいた迷子,,,”と

いう声は周りの喧騒にかき消されたと思ったのに彼女の耳には届いたようで、近くにいた友人たちに声をかけてから私の手をしっかり握ってくれました。その手の温かさについさっきまで必死にこらえていた涙があふれだして焦ったように「一人で怖かったよねもう大丈夫だからね」という声に涙は止まらなかったけれど不思議と安心感が広がっていききました。ぎゅっとないでくれた手は優しく引っ張ってくれた背中はその頃の私にはとても大きくてかっこよくて、まぶしく見えました。

案内所についてからも私を案内の係の人に預けることなく何処かでママ友とお茶でもしていたであろう母を待っている間ずっと一緒にいてくれました。小4にもなって迷子という惨めな気持ちはまだ残っていたけれどそれでも私は彼女の笑顔に救われました。話していて彼女が文化祭実行委員会の委員長だということを知り、私が「じゃあ委員会で一番偉い人なの？」と聞くと彼女は苦笑しながら「肩書は強そうでしょう？でも本当はそんなことなく、委員会のみんなが助けてくれて支えてくれて、みんなで力を合わせてきただけで私自身は別に普通の人間なんだよ」と答えてくれました。その答えに私はなぜ彼女が委員長なのかわかったような気がしました。困っている人を助けること、いつも笑顔でいること、簡単なようで当たり前のようにするのは実は難しいと思います。私はそんな彼女に憧れて「あなたみたいになりたいです」というと、びっくりしたように「えーほんと？なんか照れるね、約束だよ！」と、笑ってくれました。

それから三年後捜真女学校に入った私は文実の補助役員になり、あこがれは約束に、約束は夢になりました。私は黙っていると不機嫌に見える、と母に言われることがあるので彼女の温かい笑顔を目指して笑顔の練習をしたりしました。中2中3と文実の装飾部門に入り、部活や二役との両立がきつくて気分が落ち込んだり、なかなか作業を手伝いに行けない日が続いたりもしましたが作業に行ったとき先輩や同輩後輩とみんなで一つの物を作った日々はかけがえがなくて、もうとっくに卒業してしまった彼女が言っていた「みんながいたから今日ができた」という言葉を文化祭当日、お客さんの笑顔を見て肌で感じる

ことができました。夢は、目標になりました。今まで自分本位で生きてきた私が人を笑顔にしたいと考えられるようになったのも、今日読んだ聖書箇所「人にしてもらいたいと思うことは何でもあなた方も人にしなさい」という言葉が自分の心に留まるようになったのも紛れもなく彼女との出会いがきっかけでした。再来年、私はあの頃の彼女と同じ年になります。彼女が仲間と力を合わせて作った笑顔であふれる文化祭を私が同じように現実に行えるかまだわからないけれど、足りないところだらけの私にできる精一杯の努力で、約束を、目標を現実にしたいと思っています。あの日私の人生を変えてくれた彼女のような人に私は、なりたいです。

(中学3年生による全校礼拝より)

*Trust in God. Be true to your best self.*